

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		BASE蒲生		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		限られた空間のため、必要最低限の物以外は倉庫に片づけ、スペースを確保しています。また、同じ空間に子供たちが密集しないようプログラムを設定しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置基準に加え、1〜2名多く職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		お子さまの状況に合わせて教室を構造化しています。プログラムに集中できるよう視界に入るものを限定しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		お子さまが安全に過ごせるように常に美化を心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		いつでも個別の場所が提供できるようカーテンで仕切れるよう工夫しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝・昼・終業前にミーティングを行い、情報交換を行っています。また、半年に1回職員間でおさま一人一人にモニタリング会議を開き、今後の支援の方針等を話し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回、保護者の皆さまのご協力のもと、実施させていただき、従業員で共有した上で、業務改善を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝・昼・終業前にミーティングを行い、情報交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		今後必要に応じて第三者等による外務評価を行なっていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修の情報を職員間で共有し、希望者は積極的に参加できるよう機会が確保されている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者の皆さまに連絡アプリで月間のプログラムを公表しています。ホームページにて支援プログラムを公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		利用開始時や面談の際にお聞きした情報やニーズをもとに作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援計画を作成する際には、職員間で情報共有をする会議を設け、共通理解のもと作成されています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援計画作成時に、児童発達管理責任者から情報が共有されています。計画に沿って支援が行えるようおさま一人一人の把握に努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の行動観察をもとに標準化されたツールを用いて評価を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		今年度から5領域を軸とした支援計画を作成しています。		

支 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月間のプログラムを決める際に、職員全員で活動内容を決める会議を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		同じ内容のプログラムが続かないように月間スケジュールの中で配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子さまの状態や課題によって個別・集団活動を組み合わせながら支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		お昼のミーティングでその日の活動内容や役割分担などの打ち合わせをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終業前にミーティングを行い、支援内容等の振り返りやお子さまの情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動日ごとに、お子さま全員のケア記録をとっています。記録をもとに日々、支援の改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回、個別支援計画が更新される際に行っています。職員間で話し合いの場を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		常にガイドラインを意識して支援を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		得意なことを伸ばし、苦手なことを克服できるようお子さま自身にプログラム内で自己決定できる場を設けています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		担当者や管理者が出席しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			必要に応じて連携を図り支援していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		必要に応じて各機関と連携を図り、機会を設けていきます。
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		必要に応じて各所と連携を図り、機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎の際にお子さまの様子を伝えさせていただいています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		保護者の皆さまのご要望等に応じて実施を検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約時にご説明させていただいています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談時に保護者の皆さまにご意向をお聞きしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面談時に児童発達管理責任者から支援内容の説明をさせていただき、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		いつでも相談を受け付けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今後も定期的に家族や親子参加型のイベントを企画・実施できるよう努めていきます。また、ご要望に応じて保護者会等も実施していきたいと思います。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って対応させていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月の行事や活動予定を月に1回連絡アプリにて発信しています。ホームページ上でも毎月のプログラムなどを発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		日頃から十分に配慮しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚支援の活用や環境設定、分かりやすい説明を心掛けています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		要望があれば、今後の企画等、検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		避難訓練等を実施した際は、毎日の活動報告の中で保護者に配信しています。また、職員間で研修も行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		災害に対する避難訓練を定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		半年に1回、面談の際に話をお伺いしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に確認させていただいています。おやつ等を出し際には、職員間で確認を欠かさず行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に準じて、必要に応じて環境整備や安全措置を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保のために、保護者の皆さまと避難経路やかかりつけ医などの情報を共有しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットがあった場合には、その都度報告書を記入し、職員間で情報を共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に2回、虐待防止研修を行い、防止に努めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			やむを得ず身体拘束が必要になった場合には、マニュアルの沿って必要な手順を踏んで対処したいと思います。	